

池田 良穂 (大阪府立大学 名誉教授 客員教授) の

新 クルーズ学

▶ 75 ◀

クルーズを楽しむ人の数をクルーズ人口と呼び「飛鳥Ⅲ」の2隻が加わって供給量は大きく増えました。

32兆円余りに上っています。北米のクルーズ人口は1810万人、続いて欧州が820万人となっています。

クルーズ旅行の販売

一方、アジアのマーケットはコロナ禍からの回復が遅れており、コロナ前より40%余りも減ったまま状態です。それで

世界中で広く受け入れられるようになりました。その発展の陰には、北米各地の旅行業者の役割が極めて大きかったと言われています。当初はクルーズ発着港であるフロリ

ダにまで達した日本も、20万人弱にまで回復しました。新しく「ミツィー・



日本発着クルーズを行うプリンセス・クルーズの「ダイヤモンド・プリンセス」

は、こうした旅行社だと添乗員がいて、スケジュール管理から顧客へのサービスまで面倒をみるのが一般的ですが、クルーズではそれがいりません。すなわち販売する旅行業者にとっては、きわめて手離れのよい旅行商品なのです。

一般的に陸上の旅行では、移動のための交通、宿泊、飲食、観光などかき手配が必要です。それを旅行業者がまとめて消費者に提供するのがパッケージツアーですが、クルーズはそもそもがパッケージの分類に入ります。さらにアメリカでは、クルーズ発着港までの飛行機まで含めた商品としてクルーズが販売され、旅行業者はクルーズ協会に電話を一本かけるだけですべての手配ができます。

また、クルーズは、クルーズ協会ではクルーズアドバイザー認定制度を設けています。クルーズ協会ではクルーズアドバイザー認定制度を設けています。

クルーズ協会ではクルーズアドバイザー認定制度を設けています。クルーズ協会ではクルーズアドバイザー認定制度を設けています。

北米市場は旅行業者が開拓

クルーズコンサルタントとして活躍する人が増えることを願っています。